

技術士業務研究会／平成29年2月度例会案内

☆開催日時：平成29年2月10日（金） 18:30～21:00

☆開催場所：大阪科学技術センタービル601号室

☆開会のご挨拶：業務研究会 部会長 技術士（機械） 中塚 勉 氏

☆講演

1. (18:35 ～ 19:40)

【ご講演タイトル】：『鋼製橋梁における溶接技術の紹介』

たかば技術士事務所 代表 技術士（建設）鷹羽 新二 氏

【ご講演概要】

当時、本州四国連絡橋建設は国家プロジェクトとして位置づけされ、土木および建設技術は飛躍的に進展した。海上架橋が多く、必然的に鉄鋼材料による橋梁が設計・施工された。筆者は建設当時、橋梁メーカーの技術者としてプロジェクトに参画し、実験、技術開発を行い、橋梁製作技術の発展に寄与した。また筆者は橋梁に関する研究および技術開発業務を長年経験し、実橋に応用可能なものを模索し続けた。本講演ではこれまでの研究事例紹介を行う。また、土木インフラのレジリエンス（防災力、回復力等）に触れ、橋梁の補修・補強に関する技術についても紹介する。

2. (19:45 ～ 20:50)

【ご講演タイトル】：『コンピュータと人類～知的な機械とは何か～』

佐伯英子技術士事務所 代表 技術士（情報工学） 佐伯 英子 氏

【ご講演概要】

IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、SNS、サイバー攻撃、量子コンピュータなど、コンピュータが人類に与える影響は加速度的に増大している。

コンピュータやITは後発技術であり、これからが本格的な発展期になると思われる。

人間は古代からモノに知的機能を実装してきたが、現在の情報技術はすでにブラックボックス化しているのではないか。

そこで、代表的な事例で情報技術の仕組みを解き明かし、今後の展開について考える。

☆業務研究会連絡事項など

☆閉会挨拶：技術士業務研究会例会担当幹事 技術士（化学） 上田 修史

☆例会後、珉珉にて講師を囲んで懇談会を開催予定、有志の方々のご参加を願います。

以上

◇定員：先着順にて30名

◇参加費：業務研究会会員は無料、業務研究会会員外は1,000円

◇申込：2017年2月7日（火）までに下記へお願いします。

懇親会への参加・不参加も合わせてご連絡下さい。

業務研HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

業務研究会 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

【講師のご経歴】

鷹羽 新二 (たかば しんじ)

【経歴】

生年月：1955年（昭和30年）1月生まれ 62歳 滋賀県草津市生まれ
学歴：1973年3月（昭和48年） 滋賀県立膳所高等学校卒業
大阪大学工学部溶接工学科卒業、
学位を取得すべく、現在、大阪大学大学院工学研究科社会人ドクターコース在学中

職歴；鋼製橋梁メーカー 松尾橋梁（現 IHI インフラシステム）に入社、50歳で松尾橋梁 退職後、
高田機工 技術研究所所長として入社。アイエスケー株式会社 技術開発部長を経て現在に至る。

明石海峡大橋 製作実験チーフ、マレーシア ボルネオ島における現場溶接橋梁 常駐技術者、
溶接学会・土木学会における論説、論文多数。

現職；たかば技術士事務所 代表

専門分野；橋梁製作・設計、溶接技術、鉄鋼・金属の物性分析

資格；技術士 建設部門 鋼構造及びコンクリート、溶接管理技術者特別級（溶接協会）、土木鋼
構造診断士（日本鋼構造協会）

趣味及び自己PR：趣味は①体を動かすこと。ゴルフ、ラン、サッカー。②芸術全般を好む。陶芸お
よび絵画鑑賞、音楽鑑賞（オペラ、クラシック、ポップス）、映画鑑賞 ③旅行 社寺探
訪、海外旅行 ④居酒屋グルメ～B級から珍味まで。

佐伯 英子 (さえき ひでこ)

【経歴】

出生年月：1956年（昭和31年）5月19日

出身地：京都府城陽市（後に京都市西京区へ）

学歴：近畿大学理工学部 数学物理学科（物理）卒業（1979年）

職歴：(株)ソフテック システムエンジニア（1979年～1989年）

大阪市技術アドバイザー（～1999）

東大阪商工会議所シニアアドバイザーセンター専門家（～2008）

情報産業専門学校 非常勤講師（1991～1999）（2006～2009）

大阪中小企業応援センター 専門家（2010年度～2012年度）

現職：佐伯英子技術士事務所（1989年～）

専門分野：情報工学（情報システム）

資格：技術士（情報工学）第22082号（1989年2月登録）、特種情報処理技術者（1986年度）

趣味：写真，ピアノ，箏，電子工作，工作・修理，天文，植物・鉱物等収集

自主研究：カオス・フラクタル，ロバスト設計，ロボット

以上